

東北地方 3 か月予報

(3 月から 5 月までの天候見通し)

平成 2 2 年 2 月 2 5 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
この期間の平均気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

3 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、高い確率が 5 0 % です。

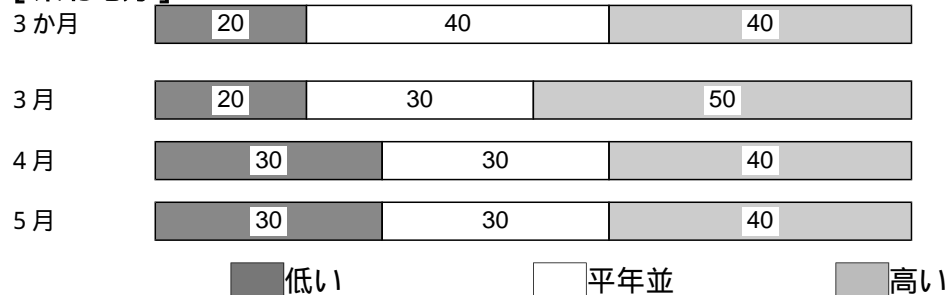
4 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温の変動が大きいです。

5 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温の変動が大きいです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

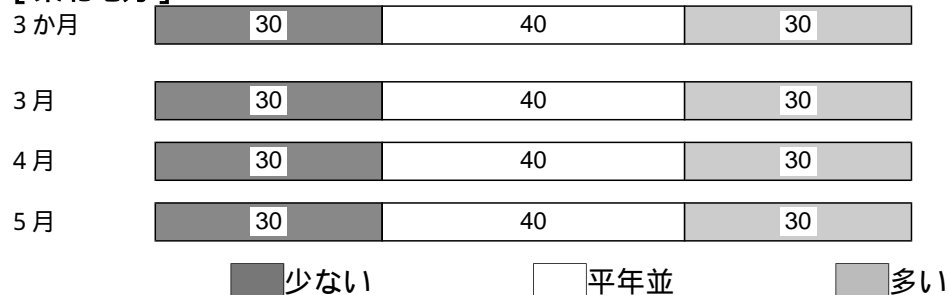
< 気温 >

[東北地方]



< 降水量 >

[東北地方]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 2 6 日

3 か月予報：3 月 2 5 日 (木) 1 4 時

3 月の予報については、新しい資料による次回以降の 1 か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月
青森	2.0	7.9	13.1	7.7	69.5	60.7	78.8	209.0	140.8	187.3	210.1	538.3
深浦	2.6	8.3	13.0	8.0	78.3	93.3	108.8	280.4	120.0	174.7	197.4	492.1
むつ	1.4	7.2	12.1	6.9	77.3	81.1	92.3	250.6	154.3	193.8	207.7	555.8
八戸	2.3	8.3	13.1	7.9	51.6	58.9	84.7	195.2	173.8	194.3	207.5	575.6
秋田	3.2	9.2	14.2	8.9	93.0	117.6	122.8	333.4	135.7	175.0	191.4	502.1
盛岡	1.8	8.4	13.8	8.0	80.1	93.8	103.3	277.3	167.3	175.1	194.9	537.3
大船渡	3.5	9.0	13.6	8.7	91.8	138.0	149.8	379.6	168.7	176.0	196.3	541.0
宮古	3.0	8.7	13.1	8.3	85.9	96.3	98.4	280.6	182.9	192.3	191.8	567.0
仙台	4.5	10.1	14.9	9.8	73.0	98.1	107.9	279.0	182.3	190.9	198.7	571.9
石巻	3.7	9.2	14.0	9.0	70.3	91.8	98.2	260.3	189.7	192.6	206.5	588.8
山形	3.1	9.8	15.4	9.4	66.5	68.1	81.3	215.8	146.5	180.3	201.9	528.6
新庄	2.0	8.1	14.2	8.1	112.1	98.3	106.6	313.6	117.2	150.2	180.1	448.2
酒田	4.2	9.8	14.9	9.6	103.5	105.5	116.8	325.8	126.1	173.1	198.7	497.8
福島	4.9	11.3	16.5	10.9	76.9	79.5	87.5	243.9	179.2	188.6	198.1	565.8
若松	3.0	9.9	15.5	9.4	63.9	63.4	80.5	207.8	140.1	175.8	197.9	513.7
白河	3.6	9.8	14.8	9.4	71.1	100.5	120.0	291.6	183.4	184.2	188.4	555.9
小名浜	6.2	11.1	15.1	10.8	106.1	128.3	147.0	381.4	187.8	186.1	198.4	572.3

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	3月	4月	5月	3月～5月
気温平年差()	東北地方	-0.4 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4	-0.4 ～ +0.2
	東北日本海側	-0.4 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.4	-0.4 ～ +0.3
	東北太平洋側	-0.4 ～ +0.3	-0.5 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	87 ～ 111	89 ～ 112	86 ～ 115	91 ～ 106
	東北日本海側	90 ～ 109	90 ～ 110	84 ～ 110	94 ～ 107
	東北太平洋側	78 ～ 120	84 ～ 113	82 ～ 111	89 ～ 106
日照時間平年比(%)	東北地方	91 ～ 108	94 ～ 103	98 ～ 105	98 ～ 104
	東北日本海側	92 ～ 108	92 ～ 106	95 ～ 104	99 ～ 104
	東北太平洋側	96 ～ 107	95 ～ 102	99 ～ 106	98 ～ 104

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ３３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (3～5 月)

平成 22 年 2 月 25 日 仙台管区气象台

1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
3～5 月：	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
3 月：	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい
4 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
5 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、熱帯域は西部太平洋熱帯域で負偏差の他は正偏差で、太平洋赤道域の中部から東部は顕著な正偏差となっている。エルニーニョ現象が予報期間中継続する予想となっている。エルニーニョ現象発生時の春は、過去の資料からは日本のはるか南で亜熱帯高気圧が強く、西日本や本州の南岸を中心に暖かく湿った気流が入りやすい傾向がある。数値予報資料の 500hPa 高度(右中図)でも、日本付近は低緯度側で広く正偏差となっており、過去のエルニーニョ現象時の特徴が予想図に現れている。一方、日付変更線付近からバイカル湖付近にかけて負偏差が広がっており、一部が北海道や東北北部にかかる。日本付近は南ほど高温傾向が予想されるものの、東北地方などでは、一時的に寒気の影響を受ける見込み。

海面気圧予想図(右下図)では、東西方向の等圧線の間隔は広く、天気は数日の周期で変わる見込みだが、広く負偏差で低気圧の影響を受けやすい傾向が予想される。

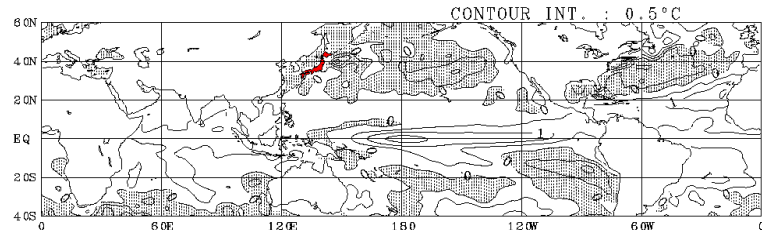
月別の海面気圧予想図(図略)などからは、
3 月：低気圧と高気圧が交互に通る、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となるが長続きしない見込み。
4 月：高気圧と低気圧が交互に通る、平年と同様に天気は数日の周期で変わると予想されるが、寒気の影響を受けやすい時期もあって、気温の変動が大きい見込み。
5 月：天気は数日の周期で変わると予想されるが、寒気の影響を受けやすい時期もあって、気温の変動が大きい見込み。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

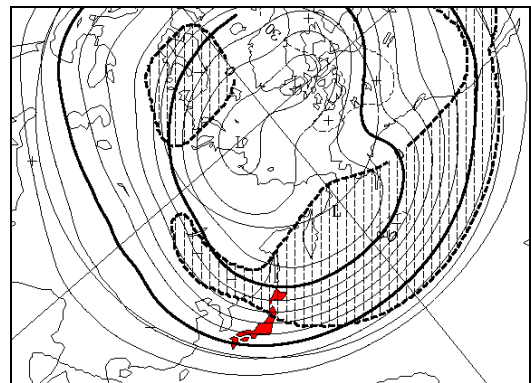
	3 月		4 月		5 月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	13.3	19.8	16.8	18.2	17.6	17.7
雨の日	14.0	8.3	10.9	8.9	10.4	9.3

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率 40% 以上の日数」、「日降水量 1mm 以上の日数」を用いている。



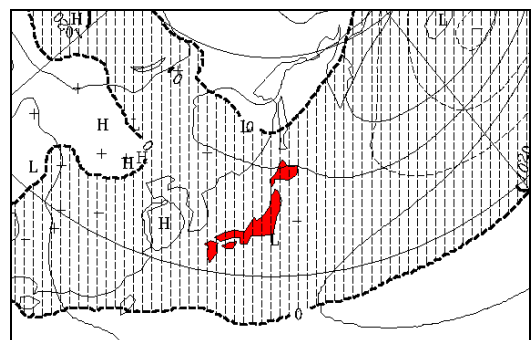
3 か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線は 0.5℃ 毎。陰影部は負偏差



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）



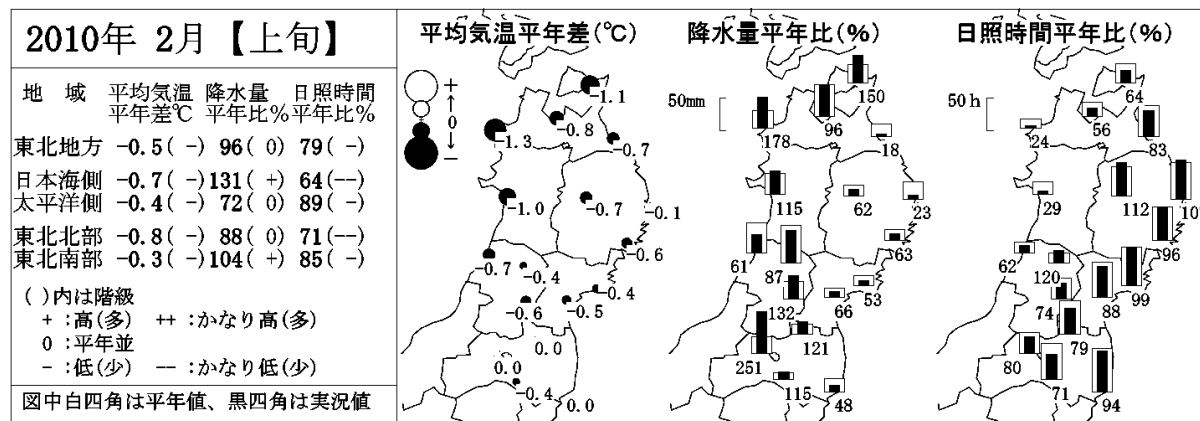
3 か月平均の海面気圧と偏差の予想図

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎。
陰影部は負偏差

3. 最近の天候経過

2月上旬：1日から2日にかけて本州南岸や日本海を低気圧が通過した影響で曇りや雪または雨となった。低気圧の通過後は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は曇りや雪の日が多かった。東北太平洋側も北部や内陸部を中心に曇りや雪となり、沿岸部でも雪の降る日があった。期間の終わりには冬型の気圧配置は緩んだが、本州南岸の前線や低気圧の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。なお、6日は強い冬型の気圧配置となった影響で、秋田県で強風による被害や交通障害が発生した。

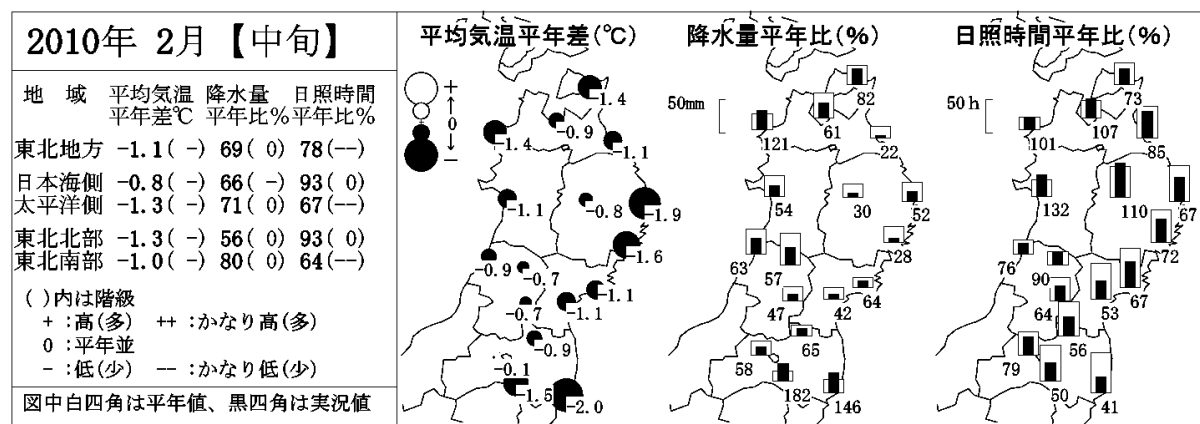
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



東北地方における2月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

2月中旬：この期間、本州の南岸や日本海を気圧の谷が短い周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となった。そのため、東北日本海側は曇りや雪の日が多かったが、高気圧におおわれ晴れる日もあった。東北太平洋側は気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。寒気の影響を受けやすく、気温の低い日が多かった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。

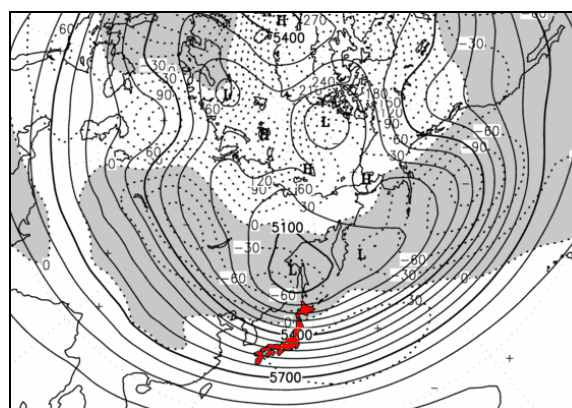


東北地方における2月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

2月(20日まで)：500hPa 高度では、日本付近は北緯40度以南が広く正偏差となった。北緯40度以北は、極域は正偏差、アリューシャン近海から中央シベリアにかけては負偏差となっており寒気放出傾向だった。負偏差の一部は北海道や東北北部にかかった。

東北地方は、上旬の中頃に強い寒気の影響を受け、また、中旬も寒気の影響を受けやすくなるなど、気温の低い日が多かった。



2月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は等高線60m毎、点線は偏差30m毎、陰影部は負偏差

〔訂正箇所〕「3. 最近の天候経過」の「2月中旬」の概況文